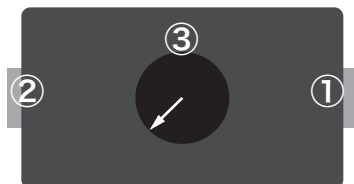




Subtle Volume Control by Scott Henderson



①IN(インプット・ジャック)

アンプのエフェクト・ループ SEND (センド) 端子やエフェクターのアウト・プットからのケーブルを接続します。複数のエフェクターをお使いの場合には、その接続位置は演奏スタイルによって変更してください。

②OUT(アウトプット・ジャック)

アンプのエフェクト・ループ RETURN (リターン) 端子や、別のエフェクターのインプット・ジャック、あるいはアンプのインプット・ジャックに接続します。

③Volume(ボリューム・コントロール)

インプット・ジャックに入力された信号の大きさを変化させます。反時計回りに廻し切るとボリュームが0の状態です。時計回りに廻し切るとボリュームがフルの状態です。本品は足で操作することを想定し、大型の特製ツマミを採用しております。

注意：

本品はロー・インピーダンス回路専用のボリューム・コントロールです。パッシブ回路のエレクトリック・ギターから直接、本品に接続しますと、高域特性が劣化して“こもった”サウンドとなり、さらに音量も低下してしまいます。基本的には、一般的なロー・インピーダンス用のボリューム・ペダルと同様に、エフェクト・ループ (裏面：図①) やエフェクターの後ろの位置 (裏面：図②) など、ロー・インピーダンス回路の中で接続してください。エフェクターの後ろに接続していても、それらがツール・バイパス仕様のエフェクターのみの場合、全てのエフェクターを OFF にすると実質的なパッシブ回路となり、高域が劣化しますのでご注意ください。

※SVC はエフェクターではありませんので、バッテリー等の電源は必要ありません

スコット・ヘンダーソンは、本品をアンプのエフェクト・ループ間に接続しています。こうすることで、アンプのプリ・アンプ部までに設定したサウンドを変化させずに、音量のみをコントロールすることができます。あるいは、エフェクト・ボード内などに組み込んで、全体の音量をコントロールするためにご使用いただくのが一般的です。

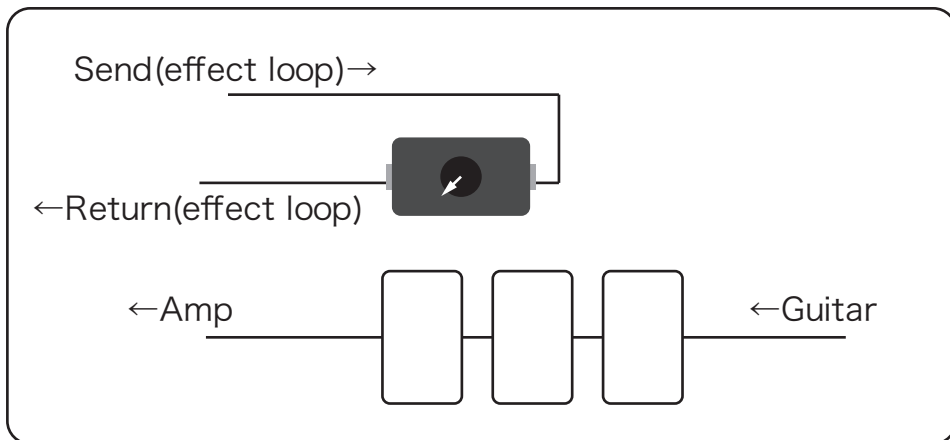


Japan

Subtle Volume Control by Scott Henderson

<接続例>

図①



図②

